

理事長就任・退任あいさつ

6月28日の定時評議員会で新理事が選任されました。同日開催の臨時理事会において理事の総意により新理事長を選出しました。長きに渡り理事長としてご尽力頂いた高山拓郎氏が退任し、前JA松本ハイランド代表理事専務理事の松澤幹夫氏が新理事長に就任しました。

新理事長就任あいさつ

理事長 松澤幹夫



このたび、長年理事長として社会福祉法人松本ハイランドの発展に大きな功績を残された高山理事長の後任として就任いたしました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。どうかよろしくごお願い申し上げます。

当法人は、長年にわたって組合員・地域住民の健康管理活動に、積極的に取り組んできたJA松本ハイランドの組合員の願いを実現する形で平成13年に設立されました。設立以来、「地域とともに歩み、支えあい助け合う」ことを理念に掲げ、地域の皆様の温かい支援に囲まれながら歩みを進め、ゆめの里和田が来年度で20周年を迎えます。現在のコロナ禍において、地域とのつながりが希薄になる中、今まで当たり前にあった「つながり」というものが、いかに大事かを感じた1年半でもあります。

生活様式あるいは生活活動、生活意識まで変化しているということで、こういうことがもたらした影響は、社会の中でも非常に大きく、多くのものを失っているかもしれません。我々としては、前向きに「つながり」を見える化していく仕事をキチンとしていく必要もあり、改めて覚悟をもって取り組みを進めなければならないと思っております。

これまで以上に、多くの皆様のご鞭撻、ご支援、ご指導をお願い申し上げ、就任にあたってのあいさつとさせていただきます。

退任あいさつ

前理事長 高山拓郎



私は、先の定時評議員会をもって退任いたしました。この間多くの方たちと出会い、多くのことを学ぶことができました。

常に言い続けてきたのは、社会福祉の仕事はクリエイティブな仕事であり、未来を担う若者にその魅力を届けるために歴史を作っていこうということでした。それは、私たちの仕事はすべての人の「生きる」にかかわっているからです。一人ひとりが言葉を大切に伝えられる側の心を動かすことができれば、「つながり」は見える化し、心地よい居場所が実現するのではないのでしょうか。

社会福祉法人松本ハイランドが、困難な時代にあっても、利用者をはじめ地域にくらす一人ひとりに寄り添い、地域との関係性を深め、信頼と協力を得ながら、明日に向かって種をまく日々であると同時に、複雑多様化する福祉ニーズに応え地域社会の発展に貢献していただくことを祈念しております。

コロナ禍にあって、懸命に努力されてきた職員の皆様と同じ時間を共有できたことに誇りをもってその任を終えることができました。心より感謝申し上げます。長い間、ありがとうございました。